

パシフィック通信



Vol. 133

受験モード突入！号

2015年8月21日 発行

TOPICS

- 「あきらめない一日」を作ろう。 :1
- 小学生
うちの子はどちらのタイプ? :2
- 中学生
ポジティブ発言で成績アップ :2
- 高校生
模試は、当日のうちに復習を！ :2
- 夏期講習の様子 :3
- 北大見学ツアーの様子:3
- 今月のカレンダー :4

「あきらめない一日」 を作ろう

【先月の復習】
覚悟があれば、
努力が習慣になる。

「何かを続ける方法」。これを手にすると、人は大きく成長できます。

モチベーションが上がっているとき。『よーしやるぞ!』と思っているとき。こういう時に頑張ることももちろん大事です。やる気にあふれた瞬間、だれでも楽しくポジティブに一生懸命できる。人生で、最も充実している瞬間っていうのがあるとしたら、実はこういう瞬間なのかもしれません。勉強に限らず努力することって、なかなかいいもんだよな〜と実感できるわけですから。

ただし、この状態が、ずーっと続くことはなかなかありません。で、大事になってくるのが「普通の状態のときにどれだけ努力を継続できるか」ということです。

では「普通の状態のときに努力を継続する」にはどうしたらよいでしょう？一体そんな方法はあるのでしょうか？

それはずばり「毎日続けること」です。

いやいや、「毎日続けられるなら、そもそも困らないんだよね。」という声も聞こえてきそうです。しかし、一番効果的な「何かを続ける方法」は「毎日続けること」です。ハードルを少しぐらい下げてでも、毎日跳び続けること。これが、最も確実に「何かを続ける方法」なのです。

高校生も中学生も小学生も、それぞれのレベルに応じて、毎日やることを決めたら、それを毎日やるのです。寝る前に書写5分。あるいは音読10分。毎朝漢字と計算10個づつ。毎日数学の問題にチャレンジする。

何でもいいのです。毎日決めたことをやる。そのために「あきらめない一日」を作ってみるといいですよ。その日は「これをやる!」と決めたことをあきらめない一日にするのです。

漢字と計算を10個ずつやる、と決めたら必ずやる。夜ベッドの中でやってないことに気づいたら、起きだしてでもやる。明日の試験の準備があって、忙しくて忙しくてたまらない。それでも、音読と計算だけはやる。

そういう一日を作るのです。

そういう「あきらめない一日」を積み重ねることで、それが、普通の日になっていきます。「あきらめない一日」が普通になって、習慣になるのです。

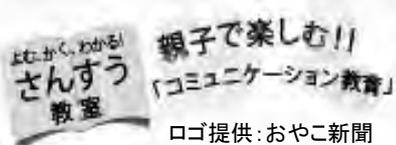
(くじら)



↑ 高校合格一番乗りAくん!!

【今月の言葉】

「あきらめない一日」を作ろう。



ロゴ提供: おやこ新聞

水が氷になる時、体積が1/11増加します。
187cm³の水が氷になると体積は？



【親が子へヒントを出す時は…】

水が氷になる時増える体積はどれだけなんだろうね？
冷凍庫にお茶やジュースを入れるときは注意しましょうね。

中学生 ポジティブ発言で成績アップ

夏休みも終わり、次の定期試験(中3は学力テストABCも)が迫ってきました。受験生はランクアップ・維持を心がけながら、受験勉強もしなければなりません。前回の定期試験で学んだことを活かし、早め早めに対策を打っていきましょう。早めといっても、今から着実に学校のワークを3周する準備をしていだけては、日ごろから解いていけば(別の紙に!)、そこまで難しくないと考えます。その際、目標は難しく考えず少し高めに設定しましょう。一学期のテストでは高い目標を設定した人が軒並み成績アップしましたね。周りの人が「ちょっと無理なんじゃない?」と思うくらいが丁度いいです。ここで肝心なのは、周りの人に何と言われようと、自分は目標を諦めないこと。「無理だ」「できない」という言葉を発すると、気持ちまでもそちら側に支配されてしまいます。そのように気持ちになってしまつては、なかなか勉強は捗りませんよね。

ジェームズとラングという二人の心理学者は、「感情が行動を引き起こすのではなく、行動が感情を生み出す」という結論を出しました。つまり「悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しい」ということです。真顔で漫画を読んだ場合と、無理やり笑顔を作つて読んだ場合とでは、無理やり笑顔を作つた時の方が面白いと感じた人の割合が多くなったという実験もあります。このように、人間は見かけ上、そうであるかのように振る舞うだけで感情をある程度コントロールできるのです。これを勉強に応用すると、気持ちが上向きになる発言をすると勉強も捗ります。つまり、ネガティブな発言をせず、「練習すればできる!」のようなポジティブな発言が、成績アップにつながります。

逆に、「自分には無理だ」「君には無理だ」などは、言わないようにしましょう。よく「その目標は無理だからもっと現実的な道を選んだ方がいいよ」とアドバイスされることがあります。もちろん善意で発言しているのですが、他人の目標を打ち砕く発言だということも忘れてはいけません。いくら自分では目標を諦めずとも、他人の言葉には少なからず影響されます。「大変だけど、一緒にがんばろうね」と励まし合えばいいのです。

新しい勉強が始まる二学期、ポジティブ発言で自分も周りも巻き込んで高めていきましょう。

(白土亮光)



高校生 模試は、当日のうちに復習を!

充実した夏休みは過ごせたでしょうか?学校が始まり大変だと思いますが、大学入試はここからが正念場です。がんばりましょう!さて、今回はこの時期によく出る「模試が多くて大変!」という嘆きに対して考察してみます。

2学期は毎週のように学校でも模試があります。勉強は進まないし、復習も追いつかず…、となりがちです。模試は受けっぱなしでは意味がありません。模試は復習が最優先です。ではいつ復習するの?当日でしょ!最低翌日までは復習してしましましょう。模試が終わると復習は明日…と引き伸ばしがちですが、問題を解いたばかりの当日のうちに復習してしまえば1日で模試が完結します。復習に1週間かけたりする人もたくさんいますが、当日に終わらせてしまうのが、最も短時間で終わりがち効果的です。もちろん後日に定期的なやり直しは必要ですよ!!

それでも、どうしても模試を受ける余裕がないときもあるでしょう。そういう時はぜひ相談に来てください。ここからは時間をうまく使うことが必要不可欠です。入試に向けて全力でアドバイスしますので積極的に活用してください。(石川恵一)



小学生 うちの子はどちらのタイプ?

楽しかった夏休みも終わり、2学期のスタート。学校での学習内容が濃くなる学期です。応用問題になった時に、新しい説明を聞いてすぐに理解できる子と、理解するのに時間のかかる子がいます。頭の回転が速い方がいいとか、遅いとダメ、という意味ではありません。すばやく理解しても、その後の伸びの少ない子もいれば、理解に時間がかかってもできるようになった後は応用が利く子もいるからです。

親としては、どちらのタイプなのか子どもを観察し、勉強が理解できるようになる過程を見守ってあげることが大切です。

まず、理論(理屈)も含めて丸暗記してしまうタイプの生徒は、応用問題になってもすべて丸暗記する傾向があります。それはそれで頭がいいと言えます。近い将来的な課題は、初見の応用問題に対応できるかどうかです。

逆に、理論(理屈)を納得するまで時間がかかるタイプの生徒は、表面的な出題のされ方が変わっても、基本的な考え方を理解していますから、初見の応用問題でもあまりひるむことはありません。このタイプの子の課題は、理解するまでに少し時間がかかるので、周りから評価されない期間があり、子ども自身が、自分は勉強に向いていないかもしれないと思ひこみを始めてしまうことがあることです。

親はどうしても、この両方を子どもに求めてしまいがちです。

残念ながら、両方のタイプを満たす子は、めったにいません。どちらのタイプも、その後伸びるためには、周囲がほめて、励ましながら、本人が自力で試行錯誤していくことが必要です。(前者の子は、応用問題に対応するために。後者の子は、理論を理解するために。)ぜひ、子どもさんのタイプを理解して見守ってあげてください。(北山あさえ)





夏期講習の様子

真剣に集中して取り組んだ生徒が多く、概ね成績を伸ばしていました。塾の滞留時間の多い生徒ほど成績を伸ばしているようです。受験生だけでなく、今回は小学生も（4年生でさえ！）長時間しっかり勉強できている生徒が多かったのは、周りも真剣なため、「自分だけ途中でメゲるわけにはいかないから」、そして「勉強の方法を教われるから」です。

しかも、今回は、8月の道コンの後も、勉強のペースを維持している人がほとんどです。秋から、いよいよ受験勉強が本格化します。ぜひこのまま突っ走りましょう。

くじら塾に来て勉強するとなぜはかどる？

1) 周りも真剣なため、自分だけ途中でメゲるわけにはいかないから。

家だと、あきらめてスマホか漫画にでも手を出してしまうようなケース（少々ハードルが高めの課題だったり、疲れたり飽きたり）であっても、「まあ、周りもやってるし、もうちょっと頑張るか」と続けているうちにスイッチが入るものです。

2) 勉強の方法を教われるから。

家だとなかなか越えられないハードルでも、塾だと越えられるのは、やり方がわかるから。

例えば、学習する順番をアドバイスされるだけでも、全然違います。



(北山義晃)



↑道コンの様子



↑白石教室で行われたテスト会の様子。



↑澄川教室で行われたテスト会の様子。



北大見学ツアーの様子

8月13日朝9時20分 白石・澄川両教室の中高一約30名が集合。暑すぎず、風もなく濃緑の北大構内を歩くのには最高！

今回は「理学部生物科学科」で、「タンパク質の構造解析」というお話を、田中准教授から伺うことができました。簡単に言うと、見えないサイズの分子・原子を見るにはどうしたらいいのか？というテーマです。

ところが話を聞いていくと、生物知識→化学知識→物理現象→数学的解析と進み、理系生徒のみならず、文系生徒や中学生でも、思わず引き込まれる内容がたくさんありました。目で見ると顕微鏡で見ると電子顕微鏡で見たものを解析したプログラムを見る、充実の1時間でした。

最後に、教授のヤオ先生が登壇。自分は外国から来て日本で20年以上研究しているけど志があればどこへ行っても大丈夫だと勇気づけてくれました。当塾のためだけに、大学教授が正式な講座活動として話して下さるなんて感激です！来年以降もこのような機会を設けていきます。



↑お昼は、講習会の打ち上げとして学食で好きなものを好きなだけ食べました！



↑途中、昔の教え子に会い、「自分の研究室も見たいですよ」との嬉しい誘いに寄り道



↑最後は、北海道の農業の始まりを感じることができるモデルバーン(札幌農学校第二農場跡)

日	月	火	水	木	金	土
2015年8月-9月					21 夏期講習終了	22
23 第3回センター 本番レベル模試	24	25	26	27	28 授業料等振替 北白石中 定期テスト	29 北白石中 定期テスト
30	31	9/1	2	3	4 日章中 定期テスト	5 小・中 月例テスト
6	7	8	9	10 中3学力テストA	11	12
13	14	15 第2回 英語検定 申込〆切	16	17	18	19 理科実験教室③ フルーツ電池
20	21	22	23	24 第2回 漢字検定申込〆	25	26
27 第3回難関大・ 有名大学模試	28 授業料等振替	29	30	10/1	2	3

案内は後日配布!
中2~小1対象

合格 目指して 頑張ろう!	【英語検定】 <input type="checkbox"/> 切 9/15(火)	【漢字検定】 <input type="checkbox"/> 切 9/24(木)	【思考力検定】 <input type="checkbox"/> 切 10/6(火)
	<input type="checkbox"/> 検定日 一次 10/11(日) 二次 11/8(日)	<input type="checkbox"/> 検定日 10/25(日)	<input type="checkbox"/> 検定日 11/7(土)
お知らせ	<p>●9月の月例テスト：小3-中3 8月の道コンのやり直しテストも兼ねています。 しっかり復習してから受験しましょう！</p> <p>9/5(土) 全員参加 ○【中1・2・3年】13:30~17:00頃まで ○【小5・6年】13:30~15:40頃まで ○【小4】13:30~14:40頃まで</p>		<p>●日経ニュースコーナー できました！</p> <p>日経写真ニュースコーナーの掲示板を設置しました！気になるニュースやスポーツの話題が盛りだくさん。これで、時事問題に強くなるぞ！！ (右上：白石教室 右下：澄川教室の日経ニュースコーナー)</p>



くじら塾(株)



■学習塾パシフィック・セミナー
 札幌市白石区本郷通4丁目北8-15
 くじらビル 〒003-0025
 電話：011-868-8808
 FAX：011-868-8838
 電子メール：kansya@kangeki.tv

■大学受験予備校イースト
 札幌市南区澄川3条2丁目4-12
 澄川駅前パーキング2F 〒005-0003
 電話：011-832-0930
 FAX：011-876-8622
 電子メール：east-sumikawa@future.ocn.ne.jp